

# 青春18ぶっく

## 11月10日(土)貸し出し開始

<p>コウノドリ 22~24</p> 		<p>鈴木 ユウ</p>	<p>第22巻 N県に帰った四宮が見たものは、崩壊寸前の医療体制と、幼なじみの妻の妊娠、そして大切な人が苦しむ姿だった。“災害”という非日常を故郷で過ごしたあと、ペルソナに戻った四宮は、ある決意を固める…。          第23巻 両親に新型出生前診断を受けるよう勧められて揺れる夫婦。ペルソナ以外の場所で、すでに診断をすませてきた夫婦。出生前診断を受けるにあたっては正しい知識を持つことが大事だが、十分にその認識が広まっているわけではない。          第25巻 【突発性難聴】妊娠中、音楽活動のために来日したサリー。共演するベイビーに、耳の不調を訴える。原因は?【養子縁組】不妊治療を諦めた夫婦と、望まぬ妊娠をしてしまった中学生。一つの命をめぐる、二つの家族の物語。</p>
	<p>ツバキ文具店の鎌倉案内</p>	<p>小川 糸</p>	<p>代書のお礼に男爵がご馳走してくれた「つるや」のうなぎ。初デートでモリカゲさんと仲良く食べた「オクシモロン」の和風キーマカレー。七福神巡りで歩き疲れたみんなを癒してくれた「光泉」のお稲荷さん。QPちゃんの大好物「パラダイスアレイ」のニコニコパン。ツバキ文具店の店主・鳩子の美味しい出会いと素敵な思い出がつまったエッセイ。</p>
<p>4522敗の記憶 ホエールズ&amp;ベイスターズ涙の球団史</p>		<p>村瀬 秀信</p>	<p>12球団最多4522敗、5年連続最下位。でも、応援するんだよ。“98年の奇跡”から一転、泥沼にはまった最弱球団が「熱く熱く立ち上がる」まで。現役選手、OB選手、歴代の監督やコーチ、球団社長など総計34人の関係者が語り、生まれつきの横浜ファンの作家が魂を削って綴った、ホエールズ&amp;ベイスターズの歴史を徹底総括する渾身のノンフィクション。</p>
	<p>失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!</p>	<p>大野 正人</p>	<p>すごい人ほどダメだった!読めば勇気がわいてくる、新しい心の教科書ピカソ、絵を見せて「意味わからん」と言われる。</p>
<p>ツバキ文具店の鎌倉案内</p>		<p>小川 洋子</p>	<p>代書のお礼に男爵がご馳走してくれた「つるや」のうなぎ。初デートでモリカゲさんと仲良く食べた「オクシモロン」の和風キーマカレー。七福神巡りで歩き疲れたみんなを癒してくれた「光泉」のお稲荷さん。QPちゃんの大好物「パラダイスアレイ」のニコニコパン。ツバキ文具店の店主・鳩子の美味しい出会いと素敵な思い出がつまったエッセイ。</p>
	<p>絶滅の人類史 なぜ「私たち」が生き延びたのか</p>	<p>更科 功</p>	<p>700万年に及ぶ人類史は、ホモ・サピエンス以外のすべての人類にとって絶滅の歴史に他ならない。彼らは決して「優れていなかった」わけではない。むしろ「弱者」たる私たちが、彼らのいいところ取りをしながら生き延びたのだ。常識を覆す人類史研究の最前線を、エキサイティングに描き出した一冊。</p>
<p>三日間の幸福</p>		<p>三秋 隼</p>	<p>どうやら俺の人生には、今後何一つ良いことがないらしい。寿命の“査定価格”が一年につき一万円ぽっちだったのは、そのせいだ。未来を悲観して寿命の大半を売り払った俺は、僅かな余生で幸せを掴もうと躍起になるが、何をやっても裏目に出る。空回りし続ける俺を醒めた目で見つめる、「監視員」のミヤギ。彼女の為に生きることこそが一番の幸せなのだと思いつく頃には、俺の寿命は二か月を切っていた。ウェブで大人気のエピソードがついに文庫化。</p>